

# 県外の先進地に学ぶ

総務民生委員会と経済教育委員会はそれぞれ所管の課題解決に向け県外先進地を訪問しました

## 総務民生委員会

視察先 熊本県・福岡県  
日程 10月20日～23日  
旅費 1人当たり13万円

### 熊本県玉名市

#### 医療費削減に向けた保健活動

本町は国保赤字が続き、医療費削減が大きな課題です。保健活動で医療費抑制に取り組み玉名市を視察しました。

玉名市は特定健診の指定年齢以下の予防・早期発見に力を入れていきます。若人健診と若人国保人間ドックの2事業を実施しています。ポイント制導入で受診率向上の工夫がありました。

食生活推進員養成講座を年8回開催しています。住民が健康管理を自主的に行う体制が徹底していると感じました。



妊婦～高齢者までそれぞれのライフステージに合わせた保健活動で医療費抑制に努める（玉名市）

### 熊本県山鹿市

#### 認知症地域支援ネットワーク

山鹿市は認知症支援に力を入れていきます。認知症対策は本町でも近い将来課題となります。地域での支援体制を研修しました。

認知症を支える地域づくりのため認知症地域サポートリーダーを養成しています。子どもサポーター養成講座も小学校で実施しています。子から親へ、親から地域へと認知症への理解が深まります。徘徊者への声かけ訓練も実施しています。

地域全体で認知症を支援する体制は効果的だと感じました。



認知症サポートリーダーは542人が登録（山鹿市）

### 福岡県糸島市

#### 自主防災組織の立ち上げ

本町の地域防災計画で自主防災組織の立ち上げが課題にあります。「防災の日」を制定し、防災・減災に取り組む糸島市を調査しました。

糸島市はすべての自治体に約1700の自主防災組織が設置完了しています。背景には90%以上の自治会加入率がありました。本町の体制づくりにも自治会加入促進が重要と確認しました。



自主防災組織は班の単位が20世帯（糸島市）